

# 令和5年度 武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 第二小学校 校長名 井 口 洋

## 教育目標

責任感をもち、自ら進んで、積極的に、ねばり強く物事に取り組める子供を育成する。

### 【求める児童像】

- 物事をよく考え、向上しようとする子供（考える子）
- 豊かな心をもった思いやりのある子供（やさしい子）
- 体を丈夫にし、物事を根気強くやりとげる子供（つよい子）

## 1 目指す特色ある学校像

「児童と教師が自分らしく生き生きと学び、共に成長し、一人一人が明るく輝く学校」を目指す特色ある学校像とし、その創造のために以下の点を掲げ、推進する。

- (1) 児童一人一人が自信をもち、学びのエンジンを動かして、伸びる喜びをつかむ。
- (2) 確かな自尊感情をもち、周りの人を大切にする。（自分が好き。みんなが好き）
- (3) 保護者・地域との協働により、児童の安心と安全が、保障される。

## 2 経営の具体策

### ○学びに向かう姿勢を育てるために(完全午前5時間制のさらなる発展、充実)

#### (1) 知性を磨く

- ・授業のめあてとねらいを明確にし、主体的に学びに向かう姿勢を育て、集中して考える力や論理的思考力を養う。
- ・タブレット端末等を効果的に活用し児童への多様な学びを保障し、学力向上につなげる。
- ・チャレンジタイムを充実させ、基礎基本の学習内容の定着を図る。

#### (2) たくましい体づくり

- ・自己評価活動の充実「めあて→活動→振り返り」
- ・年間を通した中休みの5分間走と1月のなわとび月間を実施する。
- ・健やかな成長を促進するため、栄養の大切さを理解させるとともに、正しい食事の仕方や基本的な食事のマナー等、よい食習慣を身に付けさせる。「早寝、早起き、朝ごはん、歯磨き」

### ○自尊感情の育成と美しい志の醸成を推進するために

#### (1) 道徳教育の充実

- ・自己を見つめ、よりよい人間関係を育むために、特別の教科道徳の授業の充実や特別活動の指導の充実を図る。

#### (2) 体験活動の充実

- ・みかん農園、村山大島紬、菊づくり、水田学習、お囃子等のまちづくり学習及び、縦割り班活動等での体験学習や武蔵村山高校の生徒との交流等の教育活動を通して自尊感情を高め、誰に対してもそのよさを認めることができる等、美しい志を醸成する。

### ○児童の安全安心を重点とした教育環境づくりの推進のために

- ・体罰に関する研修会を充実させ、教師一人一人が体罰によらない、教育的な指導を確実に進め、児童と共に「あたたかい授業（待つ・聴く・受け止める）」を展開していく。
- ・「校内いじめ対策委員会」を中心とし、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努め、いじめを絶対に許さない校風を醸成していく。
- ・安全指導計画を基に避難訓練や登校班指導、交通安全教室、セーフティ教室等の安全教育を充実させ、「自分で判断、考え、行動できる児童」を育てる。
- ・学校運営協議会等を充実し、授業等での保護者・地域の参画を積極的に進め、保護者・地域と協働し、迅速な対応を行い、児童一人一人が安全安心に活躍できる教育活動を推進していく。

## 小中一貫教育推進に向けた方策

### ○人権教育を柱とした五中校区の小中一貫教育を推進する

『確かな学力と豊かな心を育み、自信と誇りをもって21世紀を逞しく生き抜く子供の育成』

- ・人権教育の視点を加えた「五中校区スタンダード」を基に、2学期に行う授業研究の準備等を8月の合同研究会において行い、9月以降の研究、実践に生かしていく。
- ・年間3回の五中校区学校運営協議会を開催し、健全育成を重点として、学校・地域とが一体となった一貫教育の推進を図っていく。